

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年5月13日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/13 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	20.0	0.4 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	26.6	5.65 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	23.3	0.25 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約2.1 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/13 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.5
2号機	循環冷却システム	運転中	19.8
3号機	循環冷却システム	運転中	18.1
4号機	循環冷却システム	運転中	17.6

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

[5号機]・2015/5/13 13:10 5号機原子炉内の燃料集合体については、2015/4/22 より使用済燃料プールへ移動していたが、本日(5/13)、原子炉内の燃料配置が全市松模様の配置\*となった。

\* 燃料集合体が格子状に規則的に並んだ炉心状態であり、全ての制御棒が全引き抜きされたとしても、再臨界にならない状態

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/11 14:32 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/11 14:38 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/13 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

- ・2015/3/16～ 1号機の原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15～ 屋根パネルに孔をあけて飛散防止剤を散布し、その後、屋根パネルの取り外しを実施予定。  
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。
- ・2015/5/1 9:30 頃 H3タンクエリアのB2タンクの基礎部に水溜まりがあることをパトロール中の協力企業作業員が発見。  
当該水溜まりは当該タンクから漏えいした水と推定され、水溜まりの範囲については、約 20 cm×約 20 cmであり、堰外への漏えいはなく、同日 11:00 現在、当該水溜まり範囲の拡大はない。H3 - B2タンクに貯蔵されている水は、RO濃縮水。
- 12:20 当該水溜まりの拡大防止処置（土嚢および吸着マットの設置）が完了。  
当該水溜まり箇所（H3 - B2タンク基礎部）の 70 μm 線量当量率測定結果は、以下の通り。  

(5cm 距離 <sup>1</sup> )	70 μm 線量当量率(ベータ線)	70mSv/h
(5cm 距離 <sup>1</sup> )	1cm 線量当量率(ガンマ線)	0.06mSv/h

1:高線量率箇所から5cm 離れた位置
- 14:03 H3 - B2タンクに貯蔵しているRO濃縮水について、既設配管およびポンプを使用して、多核種除去設備への移送を開始。本移送は、H3 - B2タンクとB3タンクの連結弁を「閉」とし、H3 - B1タンクとB2タンクを連結した状態で、RO濃縮水を移送。漏えい範囲については、水溜まり発見時と比較して変化はない。また、水溜まりの深さは、最大で1mm であり、水溜まり量は約 0.04 リットルと推定。当該タンクに貯蔵している水の分析結果（2013/3/7/採取）については、全ベータで約  $2.4 \times 10^8$  Bq/L。
- 15:00 頃 当該タンク基礎部付近にコーキング処置を行うとともに、監視カメラを設置。その後は通常のタンクパトロールに加えて監視カメラによる確認を行っているが、漏えい等は確認されていない。
- 5/1 14:03～5/2 22:02 当該タンクに貯蔵しているRO濃縮水の多核種除去設備への移送を実施。
- 5/7 12:02～15:40 当該タンクの残水について、仮設ポンプにより隣接するH3 - B1タンクへ移送実施。  
当該タンクの監視について、通常のタンクパトロールに加えて、監視カメラによる確認を行っていたが、タンク内水の移送が完了したことから、通常の監視に戻す。
- 5/9 23:16 今回の移送終了に関連して、移送ラインを変更するため、多核種除去設備（A系、B系、C系）を停止。
- 5/12 10:38 作業が完了したことから、多核種除去設備（A系）を起動。運転状態に異常がないことを確認。今後、汚染水の処理状況を考慮しながら、多核種除去設備（B系、C系）についても起動する。

#### 【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 5/1]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。5/13 10:13、海洋への排水を開始し、同日 10:38 に漏えい等の異常がないことを確認。

#### 【H4, H6 エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4 エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6 エリア周辺のサンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上